

# 長野県よろず支援拠点の紹介

---

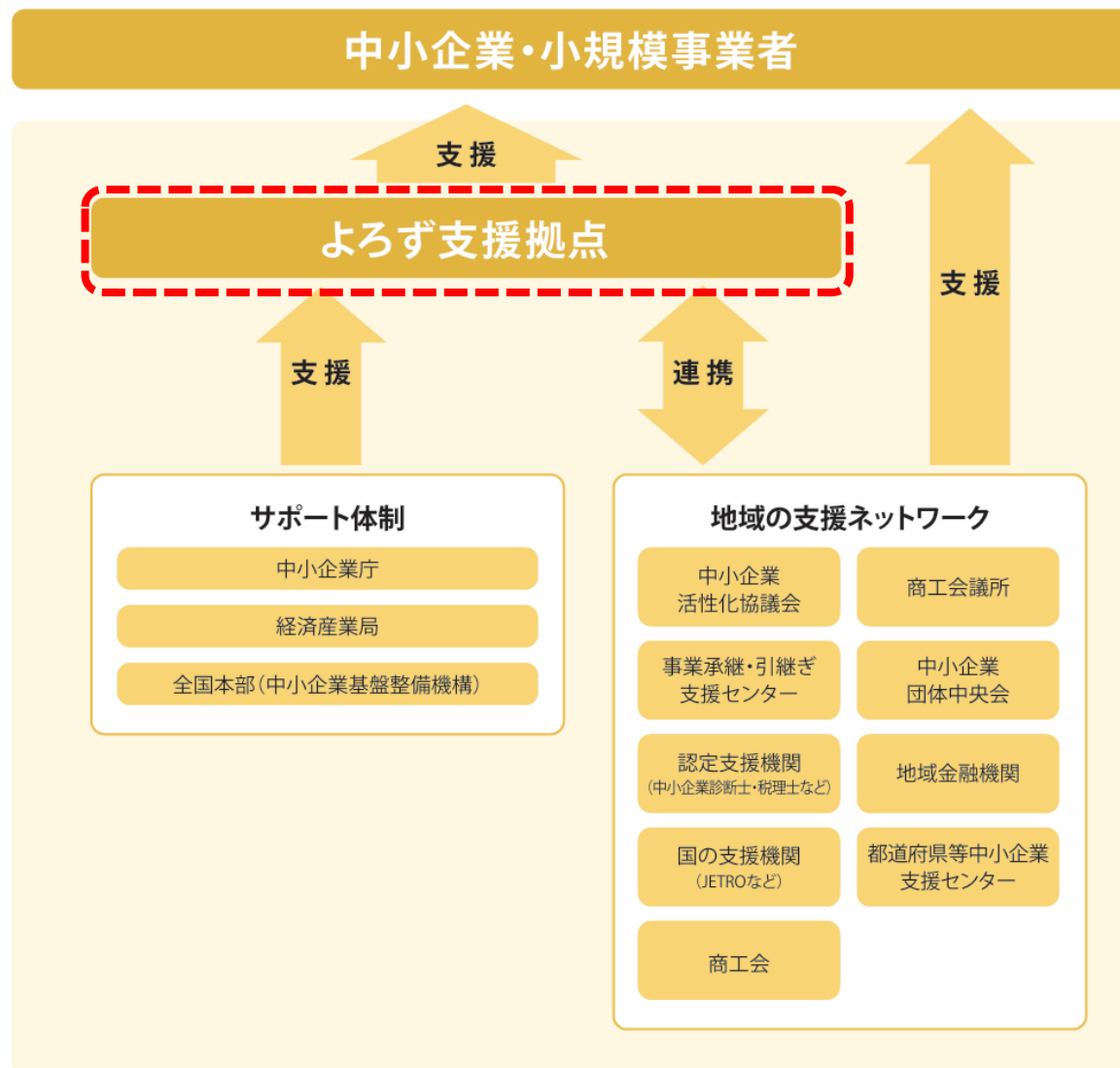
2026年4月14日

長野県よろず支援拠点  
チーフコーディネーター樋口武伸



# 1. 地域における「他の機関」との連携

## ◆ よろず支援拠点の支援体制イメージ図 ◆



1. よろず支援拠点は、中小企業・小規模事業者のためのワンストップ支援窓口としての役割を担っています。

2. よろず支援拠点が相談者と地域の各支援機関をつなぎ、それぞれの強みを生かした総合的な支援体制で課題解決に取り組めます。

## 2. 4つの特徴

01

### あらゆる経営課題への対応

中小企業・小規模事業者の皆さまが直面し、  
また変化していくさまざまな経営課題の相談に応じます。

 売上拡大

 経営改善

 事業承継

 DX (IT活用等)

 価格転嫁

 人手不足

など

02

### 専門性の高い経営アドバイス

経営、金融、マーケティングなど、多様な分野の専門家や、企業経営の経験者が在籍しています。それぞれの経営課題に応じて最適な人選を行い、高度な経営アドバイスを提供します。

03

### 相談から実行までフォローする寄り添い支援

解決策を提案して終わりではなく、継続的にフォローしながら、実行を支援します。  
課題解決後に新たな課題や目標が見えてくれば、引き続き、その解決や達成に向けた支援を行います。

04

### 他支援機関との連携による支援

地域の他の中小企業支援機関などとも連携し、相談内容や経営課題に応じた適切な支援体制をコーディネートします。

### 3. 所属する「専門家・コーディネーター」

#### 1. 事業者の経営課題に応じ、各分野の専門家が伴走支援します

##### 【専門分野】

「売上・販路拡大」「デザイン・商品開発」「ブランディング」  
「IT活用」「WEB・SNS活用」「販売店舗レイアウト」  
「インバウンド・海外販路開拓」「雇用・労務関係」「法律相談」  
「経営改善」「資金繰り」「製造現場改善」「農商工連携」

##### 【コーディネーター（専門家）】

※長野県よろず支援拠点パンフレット、HPをご覧ください

#### 2. 相談対応について

売上拡大や経営改善等の経営課題の解決に向けて、一步踏み込んだ専門的な提案を行います。  
また、課題解決に向けて相談内容に応じた適切な支援機関の紹介や課題に対応した支援機関の相互連携をコーディネートします

##### （１）総合的・先進的な経営アドバイスを提供

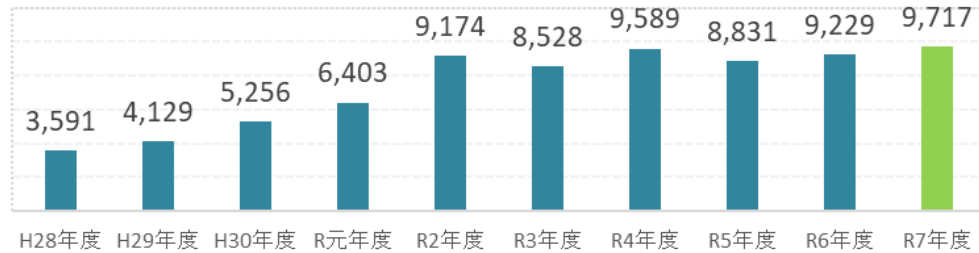
様々な分野の専門家がいるからこそ、色々な角度から一步踏み込んだアドバイス

##### （２）経営課題に応じコーディネーターや他の機関と連携、ワンストップサービス

課題解決に向け、必要に応じ他のコーディネーターや支援機関等と連携します

## 4. 相談対応件数の推移、満足度調査結果（令和7年度）

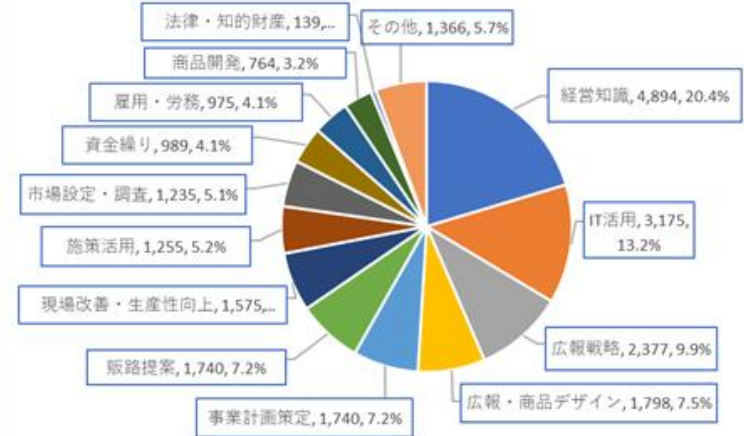
相談実績件数の推移



### 1. 対応件数

コロナの影響は落ち着いていますが、資金繰りや価格転嫁等の新たな課題に対応するため、令和7年度は過去最高の9,714件の相談を実施。

R6年度 課題（中）別相談件数内訳



### 総合満足度

		大変満足（満足）	（やや）満足	（やや）不満足	大変不満足（不満足）	満足:計
全国	(n=14726)	58.7%		37.7%		96.4%
長野県	(n=164)	52.4%		43.3%		95.7%

### 2. 満足度調査結果

よろず支援拠点全国本部にて毎年「満足度調査（電子メール方式）」を実施。長野県は「大変満足・満足」95.7%（全国平均96.4%）

## 5. 生産性向上支援センターの概要（令和8年4月開始）

1. 人手不足などの課題に直面する中小企業等が、**生産性向上に取り組めるよう**、国が全国の「よろず支援拠点」内に設置。（令和8年4月開始）
2. 生産性向上の**プロ（サポーター）**が、**無料**で、**複数回**、**中小企業等の現場に訪問**し、徹底して伴走。
3. 業務の見える化、ムリムラムダの削減、作業の標準化、導線の効率化、デジタル活用、省力化投資の検討など、状況に応じアドバイスを実施。

### 支援内容の一例

	課題のありか	目的	方法・支援内容
	⑤自動化・IoT	・画期的な省人化・省力化 ・工法・加工技術の開発改良 ・リアルタイム管理	・AI/ロボット/センサー/カメラなどメカトロ技術を活用 ・システムインテグレーション ・情報ネットワーク技術によりリアルタイム化とアクション
	④スタッフ業務改革	・受発注・生産管理・設計開発 事務・技術・計画業務効率化 とリードタイム短縮	・アナログな作業をデジタル化（DX）一気通貫・一括処理 ・POS、RPA、クラウドなどITの活用 ・CAD/CAMなどデジタルエンジニアリング技術の活用
	③プロセス改革	・コスト原単位に基づいた改革 ・工程短縮・共通化、在庫低減 ・レイアウト・物流・動線改革	・ヒト・モノ・情報の流れを把握＆分析、減らす/止める/共通化 ・作業手順・工数・在庫量・仕掛かりタイミングを明らかにし シンプル・スリム・スピーディ・フレキシブルに
	②改善職場づくり	・作業者の声をもとに自発的に 改善の進む職場文化・風土	・ムリ/ムダ/ムラ、やりにくい作業、守りにくいルールの改善 ・全員参加・現地現物・チームワーク・改善マインドの醸成
	①作業環境の整備	・安全・安心・健康な作業環境 ・正常・異常がすぐわかる ・ムリ・ムダ・ムラを目立たせる	・5S(3S) 必要な物は近く、分かるように、不要物は整理 ・災害・疾病リスクアセスメントで、より良い作業環境作り

# 6. ご相談の流れ

ご相談は、**事前予約制**、**来訪型**、**Web面談**による対応となります

■通常相談は、事務局へ事前予約。**各相談所へ来訪**していただきます

■各支援機関（例：商工会様）からの相談依頼は、

①各商工会様、又は②よろず支援拠点（各サテライト含）で対応します

**【ご留意点】**・相談時間の目安は約1時間。[申請書作成等の実務は行いません](#)



STEP  
1

相談の予約

電話・メールにて相談の予約を頂き、日時を決めます。



STEP  
2

相談のヒアリング

各相談所にお越し頂き、経営に関するお悩みや会社の現状などをお聞きます。



STEP  
3

具体的な解決策を提案

各分野の専門家が、現状と今後の環境変化を見据えながら経営課題に応じたアドバイスを行います。



STEP  
4

成果が出るまで徹底的にサポート

事業の進捗状況に応じ、相談者の問題解決へ向けてサポートします。

# 7. 相談拠点（県内12か所）

